

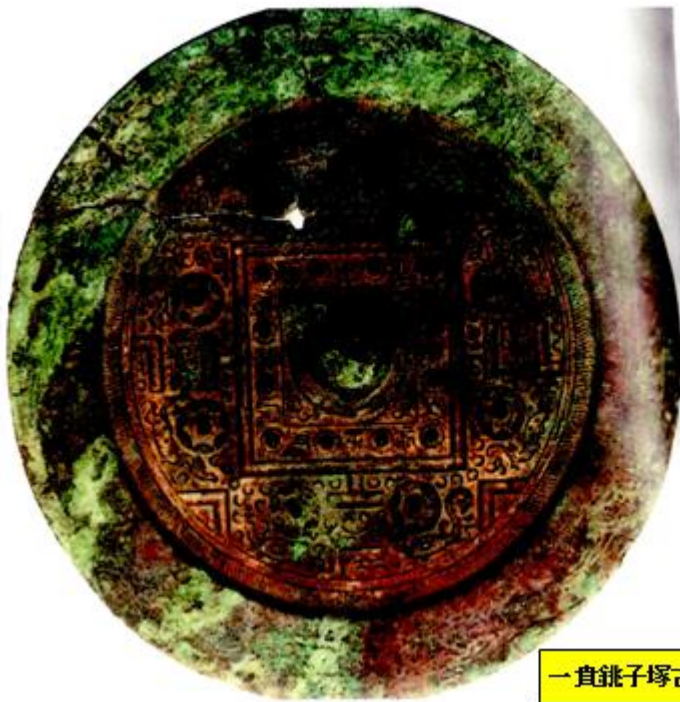
古代史探訪

歴史の通説を見直し真実を探す

その(二)

= 三角縁神獸鏡を考える =

王権の象徴・鏡



一貫銚子塚古墳出土黄金鏡

三角縁神獸鏡

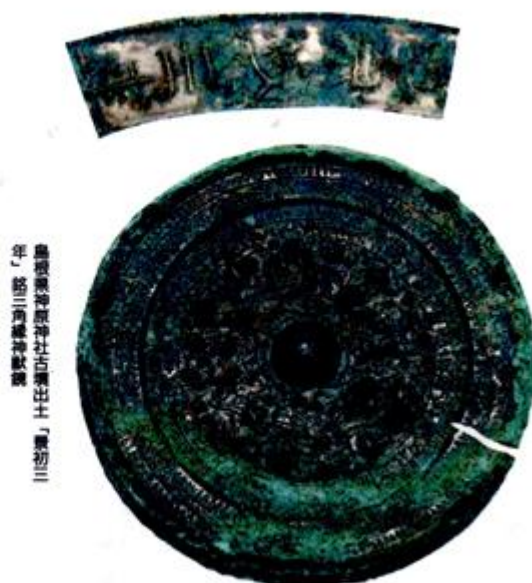


卑弥呼の鏡＝漢鏡と三角縁神獸鏡

＝邪馬台国近畿説＝ 三角縁神獸鏡は卑弥呼の鏡

- ①、三角縁神獸鏡には卑弥呼が使いを出した時代の魏の年号「景初」、「正始」の名を持つ物が有る事から魏の鏡である。
- ②、魏志倭人伝に倭王が貢献してきたことに応じて「銅鏡百枚」を与えるとの記載が有り、卑弥呼が魏王より下された魏鏡こそ卑弥呼の鏡である、従って卑弥呼の鏡は三角縁神獸鏡である。
- ③、三角縁神獸鏡は近畿を中心に出土しているから、卑弥呼の国邪馬台国は近畿にあった。
- ④、漢の光武帝から金印を貰った史実をはじめ、中国の有史以来登場する「倭国」は「邪馬台国」＝「ヤマト国」である。三角縁神獸鏡の分布をみれば、古墳時代には大和朝廷の力が全国に及んでいた。

景初三年銘を持つ鏡



②、正始元年の銘を持つ鏡

